

報道各位

新潟市危機管理防災局防災課

第10回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2025）の
開催会場・大会テーマについて

令和7年度に国内最大級の防災イベント「防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2025）」が新潟市で開催されます。

この度、開催に向けて、開催会場および大会テーマが決定したことについて、内閣府が記者発表したのお知らせです。

1 日程

令和7年9月6日（土）及び7日（日）

2 開催会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（新潟市中央区万代島6番1号）

3 大会テーマ

語り合い・支え合い～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～

※開催趣旨は、裏面参照

4 参考

「ぼうさいこくたい」は、国（内閣府等）が主催し、産官学、NPO・市民団体や国民が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。

お問い合わせ

新潟市危機管理防災局

防災課 高橋・田辺

TEL：025-226-1140

語り合い・支え合い ～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～

【開催趣旨】

- 日本は、地震、津波、大雨、台風、火山噴火、豪雪等様々な自然災害の影響を受けやすい環境にあり、特に、近年の自然災害は激甚化・頻発化し、毎年、各地で甚大な被害が発生しています。また、南海トラフ地震や首都直下地震等大規模災害の発生が懸念されています。
- 我が国はこれまで、災害が発生する都度、被災地での課題を洗い出し、経験と教訓を踏まえて、災害対応を進化させてきました。
- 災害による被害を最小限に防ぐ事前防災や復旧・復興において、近年は行政による「公助」の取組だけでなく、一人一人が自分の身は自分で守る「自助」、さらに地域で助け合う「共助」の取組が進んでいます。令和6年の能登半島地震でも、発災当初から様々な支援の手が、被災地へと差し伸べられました。
- 災害から一人一人の命を守り、より良い復旧、復興を遂げるには、ハード・ソフト両面の対応が必要であり、特に、平時からの地域コミュニティ、企業、ボランティアを始めとする様々な主体による、人的、物的両面での事前の備えや連携が重要です。
- 昨年の能登半島地震では、新潟県でも多くの被害が発生しました。また、新潟県は、新潟地震、中越地震、中越沖地震、豪雨水害、豪雪、火山噴火等様々な災害を経験してきましたが、その度にそれらを乗り越え、復興してきました。
- 10回目の節目を迎える2025年のぼうさいこくたいでは、「語り合い・支え合い～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～」をテーマに、中越地震等の様々な災害での新潟県の経験や教訓と、全国から集まっていたく方々の知恵や知識を織り交ぜ、次世代へ伝えていくことで、災害への備えにしたいと思います。
- この「ぼうさいこくたい」を通じて、国民一人一人の防災意識がさらに向上し、人と人との結びつきや多様な主体の連携・協働がより強固なものとなり、我が国全体の防災力の向上につながっていくことを願っています。